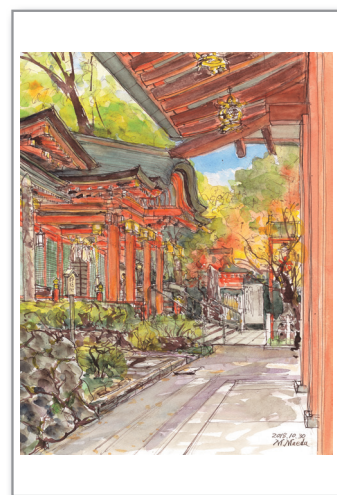




# 11th・阪急 ええはがき コンテスト 入賞作品集



## 目次

第11回阪急ええはがきコンテスト について	1
最優秀賞 写真部門	2
最優秀賞 絵画部門	3
審査員賞 写真部門	4
審査員賞 絵画部門	5
大阪ええはがき研究会賞	6
エリア賞(神戸線賞)	7
エリア賞(宝塚線賞)	8
エリア賞(京都線賞)	9
キッズ・ジュニア賞	10
ティーンズ賞	11
秀作賞	12
佳作 神戸線	14
佳作 宝塚線	21
佳作 京都線	25
阪急ええはがきコンテストの軌跡	31
審査員の先生方からのメッセージ	41

※作者名にPNと付記した方はペンネームです。

## ごあいさつ

阪急沿線の地域(まち)の魅力を再発見し、発信するイベント「阪急ええはがきコンテスト」は、今回で11回目を数えるに至りました。

これはひとえにこれまで応募して下さった皆様のおかげと感謝申し上げます。

さて、今回は、新型コロナウイルスの感染が広がる状況下でありましたが、地域への想いが込められた写真や絵画など、600点を超えるご応募がありました。

応募作品には、「阪急沿線にある地域を是非とも知ってもらいたい!」という強い想いが感じられました。素晴らしいシーンが撮影された写真や、感動させられる絵画、作品を物語っているコメントが、心に沁みます。

作品の審査では、審査員の先生方が熱く議論を重ね、見事選出された作品が、この作品集でご紹介する60作品です。

この作品集を通じて、地域の魅力を再発見し、訪問のきっかけとしていただければ幸いです。

阪急電鉄株式会社  
2020年12月

阪急ええはがきコンテストのホームページでは、今回のコンテストの全入賞作品の「ええはがき」がダウンロードできます。また、過去10回分全ての「ええはがき」もダウンロードすることができます。



ホームページURL  
<https://www.hankyu.co.jp/eehagaki/>

過去の入賞作品は、Instagramでも公開しています。



# 第11回 阪急ええはがきコンテストについて

## 募集作品

魅力あふれる阪急沿線の地域（まち）への思いやメッセージ（日本語または英語）を添えた写真や絵画等。思い出の中の風景等を対象にした作品も応募可能。

## 作品募集期間

2020年4月1日～8月31日

## 対象エリア

全線

## 賞

最優秀賞 写真部門	1作品	キッズ・ジュニア賞	1作品
最優秀賞 絵画部門	1作品	ティーンズ賞	1作品
審査員賞 写真部門	1作品	エリア賞	各1作品
審査員賞 絵画部門	1作品	(神戸線賞・宝塚線賞・京都線賞)	
大阪ええはがき研究会賞	1作品	秀作賞	2作品
		佳作	48作品
			計60作品

## 審査員

有野永霧先生（写真家）、井上正三先生（画家）、杉本容子先生（大阪ええはがき研究会）

## 関係組織・団体

主催：阪急電鉄株式会社  
 共催：阪急阪神ホールディングス株式会社  
 後援：大阪府、京都府、兵庫県  
 協力：大阪ええはがき研究会、一般社団法人総合デザイナー協会



## ▶ ええはがきとは…

ええはがきは、「大阪ええはがき研究会」が提唱するまちの魅力を発信する絵はがきのこと。写真やスケッチに加え、作者の思いを伝えるコメント、撮影・スケッチした場所の地図が載っているのが特徴です。

## ええはがきの3つの楽しみ方

### 見て楽しむ

この作品集を見て、沿線のええポイントを再チェック！お気に入りの作品はWebからダウンロードしよう！

### 行って楽しむ

ええはがきを片手にまちの魅力を探しに行ってみよう！

### 送って楽しむ

ええはがきはもちろん、はがきとして活用OK！あなたの周りの人に送って、まちの魅力を発信してみよう！

写真・スケッチなど



今回は入賞上位12作品が特別仕様になっています。作品と併せて、英語訳と地図デザインにもご注目下さい。





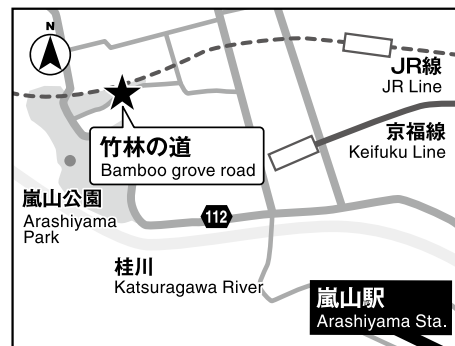
竹林雪景色  
Snowy bamboo forest scenery

森 睦夫さん  
MORI MUTSUO

メッセージ:

なかなか積もらない嵐山の雪、やっと降雪。急いで撮影に行きました。大河内山荘前の高台より手を伸ばして撮影しました。

In Arashiyama, where it does not snow so much, snow had finally settled. So I went to take photos in a hurry. To shoot this photo, I reached out from the hill in front of the Okochi Sanso villa.



審査員  
講評

待ちに待った降雪。雪の知らせを聞いて嵐山に飛び出した作者の感動が伝わってくる作品である。画面の中心部に向かう構図が実に見事である。赤いバッグを背負う点景人物と美しく立ち並ぶ竹林の積雪が、奥の緑の竹と融合して、品格のある格調高い作品に仕上げている。カメラの俯瞰的なアングルも素晴らしい。(有野永霧先生)





春の訪れ  
The arrival of spring

田中 早苗枝さん  
TANAKA SANAE

メッセージ:

誰の心の中にもある大好きな風景。庭先で春になり咲く木蓮の花越しに、高架の先で海が煌めき、輝きだした春の街角。いつまでも変わってほしくない私の景色です。

Everyone has a favorite scenery in their heart. A spring street corner, where the sea shines over the elevated railroad, adorned with magnolia flowers blooming in the garden. This is my favorite scenery and I hope it will never change.



審査員  
講評

この坂道の先には海。そして、この坂道に座る作者の横には木蓮の花が春の風に揺れています。ごくありふれた神戸の街の風景ですが、作者にとって安らぎを覚える日常の坂道なのでしょうね。構図にも柔らかい色使いにもこの風景を大切に思う作者の思いが感じられ、共感します。(井上正三先生)



水煙にかすむ  
A veil of fog on the water

長谷 徹さん  
HASE TORU

メッセージ:

勝尾寺のしだれ桜は山門の左右にあって参拝者を迎えてくれます。時々、弁天池の橋の下からは水煙が吹き出し、風で山門や桜、池などに流れ、幻想的な景観に変化いたします。

Weeping cherry blossoms at Katsuo-ji Temple droop on the left and right of the gate, and welcome worshipers. From time to time, fog drifts from under the bridge of the Benten Pond. The wind blows it toward the gate, the cherry blossoms, the ponds, and other places, making the landscape mystical.



審査員  
講評

勝尾寺以外ではまれにしか見かけない人工的な霧を、見事な感性で映している。何かを透して世界を撮るとい透視法をうまく使い、幻想感のある華やかな美しい風景に仕上がっている。全体をブルーの基調にして、色鮮やかな枝垂れ桜と純白の噴霧とを対比させた感性に魅了された。日本画のような優美な美を感じさせる見事な作品である。(有野永霧先生)





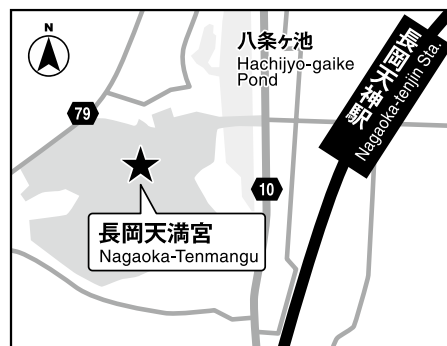
長岡天神の秋  
Autumn in Nagaoka-Tenmangu Shrine

前田 穰さん  
MAEDA MINORU

メッセージ:

市民から天神さんと呼ばれ親しまれている長岡天神。四季折々の花できれいに彩られる神社。社殿の朱色と紅葉が競演する様をスケッチしました。

Nagaoka-Tenmangu Shrine is known familiarly by the citizens as Tenjin-san. The shrine is beautifully colored with seasonal flowers. I sketched the perfect matching of the vermilion shrine pavilion and the autumn leaves.



審査員  
講評

社殿の朱とバックの木立の紅葉とがまさに競演しています。スピーディーなペンデッサン、筆さばきは達者で、この鮮やかな朱の世界の前に座り、心躍らせ筆を走らせる作者の姿が目に見えます。繊細な描写と大胆な筆致、社殿を大きくカットした構図が魅力的です。(井上正三先生)



## わらびの採れる公園で Bracken picking in a park

泉 麗香さん  
IZUMI REIKA

### メッセージ:

父と母が毎日お散歩しているコースを案内してもらい、そこでわらび採りも楽しみました。張切ってたくさん採る母と、母を見守る父。両親は、いつまでも私のお手本です。大阪が一望できる小さな公園で。

My parents took me to the course where they take a walk every day, and we enjoyed picking bracken fiddleheads there. My mother enthusiastically gathering many bracken fiddleheads, and my father watching over her. My parents will forever be my ideal. In a small park overlooking Osaka.



### 審査員 講評

まずは、「わしっ」とワラビを掴んだ手の力強さに目を奪われました。掴んだワラビを見て反射的に撮った一枚。気持ちごとくも伝わります。コメントに目を向ければ、お父様お母様との散歩道でのワンシーンとのこと。何気ない日常の、かけがえのない家族の幸せ。こんなええはがきを送られたら、受け取った相手も幸せになれそうです。(杉本容子先生)





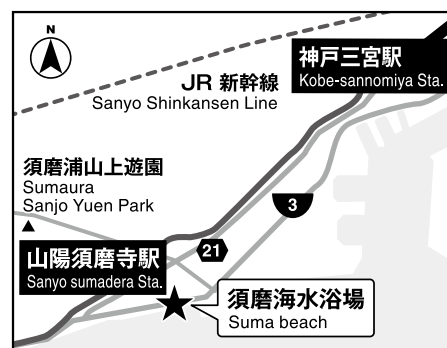
## 伸びーる砂浜 “Stretching” sandy beach

宮田 仁さん  
MIYATA JIN

### メッセージ:

須磨浦公園から望遠レンズで海岸に近づけると、砂浜の一部が引っ張られてどこまでも伸びて行く様に見えました。この場所からでないと見られない風景に見入ってしまいました。

When I saw a beach through a telephoto lens from Sumaura Park, it looked as if a part of the sandy beach was being pulled and stretched forever. I was fascinated by the scenery that can only be seen from this place.





早春の恋  
Love in early spring

清水 潤三さん  
SHIMIZU JUNZO

メッセージ:

夏にはたくさんのハスの花を咲かせる緑地公園の山ヶ池。春先は立枯れ状態になっていますが、よく見るとたくさんのカモ達がいる、あそこでもここでも恋の花を咲かせています。

In summer, many lotus flowers bloom in Yamagaike Pond in Ryokuchi Park. Although the lotus withers in early spring, if you look closely, you can see love blossoming among many duck couples here and there.







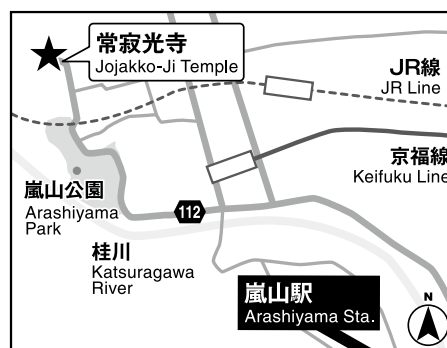
京都嵐山“常寂光寺”山門  
The gate of Jojakko-ji Temple in Arashiyama, Kyoto

谷 富美子さん  
TANI FUMIKO

メッセージ:

常寂光寺は小倉山中腹にあって、元は藤原定家の時雨亭跡と伝えられています。青もみじの風情は定家の和歌の世界を感じさせます。

Located on the hillside of Mt. Ogura, Jojakko-ji Temple is believed to be the site of the Shigure-tei villa owned by the ancient poet Fujiwara no Teika. The elegance of green maple leaves immerses us in the world of Japanese poetry once composed by Teika.





神様の通る道  
The path of God

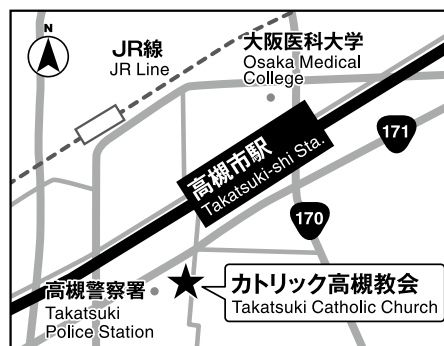
田中 詩湮さん  
TANAKA OTOMI

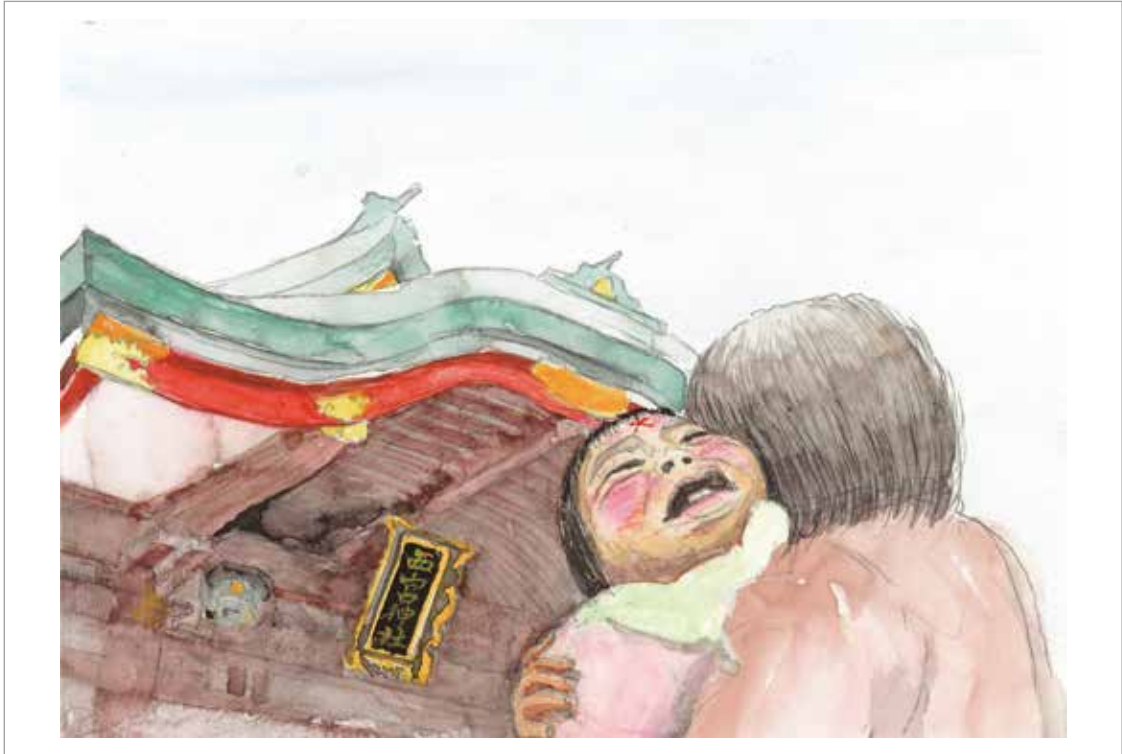
メッセージ:

町のまん中に静かにある教会です。ステンドグラスや、ドーム状の屋根がとても印象的な建物です。

It is a quiet church in the middle of a town. Its stained glass and cupola are very impressive.

※キッズ・ジュニア賞とは、小学生以下を対象とした作品





西宮神社の七五三  
Shichigosan at Nishinomiya Shrine

多田 太志さん  
TADA TAISHI

メッセージ:

西宮神社は日本に約3500社ある、えびす神社の総本社です。地元では「西宮のえべっさん」と呼ばれています。七五三参りでかわいい赤ちゃんがお母さんに大切に抱っこされながら、大声で泣いていたのが印象的でした。

Nishinomiya Shrine is the head shrine of about 3,500 Ebisu-sect shrines in Japan. The locals call it Nishinomiya-no-Ebessan (Ebisu in Nishinomiya). A cute baby brought for the Shichigosan festival, crying loudly while lovingly held by its mother, left a deep impression on me.

※ティーンズ賞とは、中学生以上19歳以下を対象とした作品







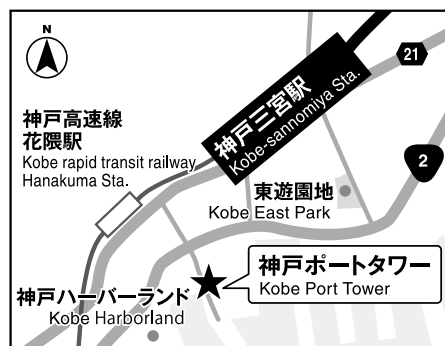
夕暮れ時  
Before sunset

平石 善洋さん  
HIRAISHI YOSHIHIRO

メッセージ:

夕暮れ時に、ポートタワーを背景にしてたくさんの赤トンボがとびかっていました。赤トンボが夕暮れを教えてくれているようでした。

Just before sunset, many red dragonflies were flying against the backdrop of the Port Tower. I felt as if they were telling me that dusk was falling.





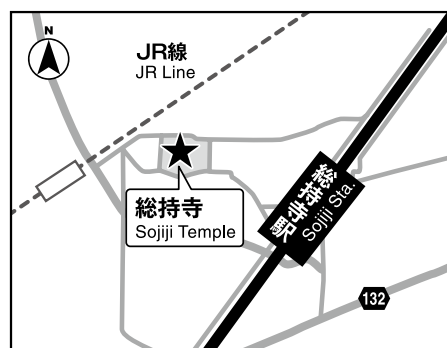
懐かしい夕景  
Reminiscence at sunset

山本 春美さん  
YAMAMOTO HARUMI

メッセージ:

小学校の通学路にあったお寺です。中学で引越したので、久しぶりにスケッチに訪れてみたら、塀が凄く低く感じました…自分の身長が伸びたせいですね。毎日、日が落ちるまで遊んだ懐かしさを描こうと思いました。

This is a temple on the road to my elementary school. When I visited here to sketch for the first time since moving to another city in my junior high school days, I felt that the fence was very low—probably because I had grown taller. I tried to depict the nostalgia of my childhood days when I used to play there every day until sunset.

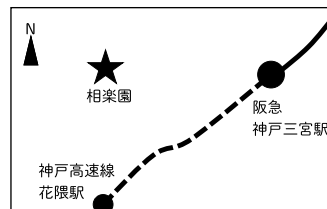




爽やかな水面

片岡 雅子さん

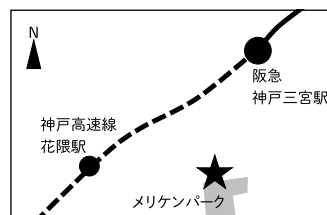
メッセージ: ツツジもまだ咲いていましたが、何より若葉の色がとてもフレッシュで、池に映りこんでゆらゆらと。とても爽やかな気持ちになりました。



港町神戸

中村 良三さん

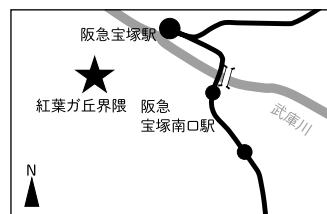
メッセージ: 洒落た神戸の街並みは、後世に残したい宝物です。



台風一過の朝

橘 和秋さん

メッセージ: 当時、近畿を襲った台風10号。一夜明けた早朝の様子です。荒れ狂った嵐の名残が観られます。日の出の光に輝くのは阪神尼崎付近のビルだけです。今頃、東海や北陸は大荒れでしょう。





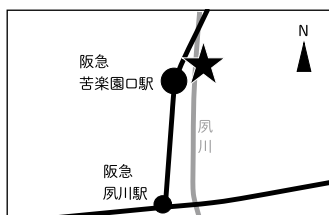
**屋下がりの和みの公園 中川 義弘さん**

**メッセージ:**西宮北口駅から屋根付きのペデストリアンデッキで直結している兵庫県立芸術文化センターの高松公園は、四季折々の木々や草花が目を楽しませてくれる和みの公園です。多くの人が、おしゃべりをし、本を読んだり、スマホをしたり、弁当を食べたりしている憩いの場になっています。



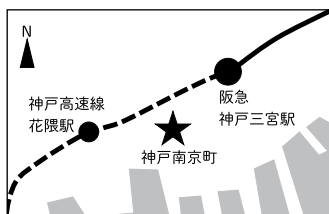
**みんなで見たかった… 端野 智久さん**

**メッセージ:**コロナウイルスの影響がなければ、今年もこんな光景だったに違いありません。また、桜を楽しめますように…。



**異国出現 岡田 忠良さん**

**メッセージ:**今年の南京町春節祭。中国ちょうちんが吊るされ、龍が舞う、この時期神戸に異国が出現します。

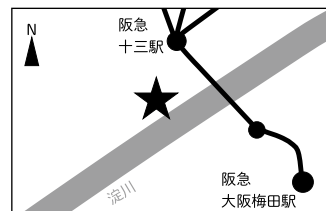




水上都市

taka(PN)さん

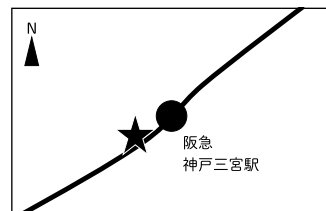
**メッセージ:**よく撮影に行く淀川と梅田のビルを絡めた一枚です。その日のコンディションでいくらでも表情を変えてくれるので、何回行っても飽きることのないお気に入りスポットです。



明るいところ

久保 沙絵子さん

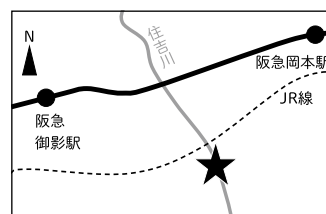
**メッセージ:**スケッチする場所を探し歩いてみつけた場所です。明るい看板、木の緑、人の笑顔、たくさんの色々な“明るさ”がある豊かな景色を描きました。素敵だと思った感動をなるべくそのまま絵にしたいと思い、下書きなしで定規を使わず描きました。



都会のオアシス

秋田 剛平さん

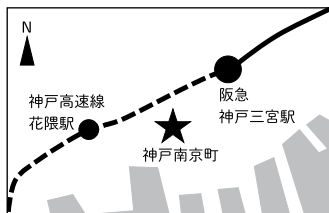
**メッセージ:**住吉川は都会の中を流れているにもかかわらず、生活排水が混じらない綺麗な川です。河川敷は「住吉川清流の道」と呼ばれ、遊歩道を散策する人や、夏場は子供たちの水遊びの場として賑わっています。





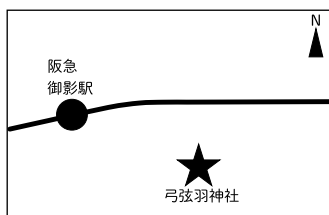
**もうひとつの光の祭典 箕面 太郎(PN)さん**

**メッセージ:**毎年12月から1月にかけて開催される「南京町ランタンフェア」。400以上の中国提灯が南京町を幻想的に照らし出します。  
 ルミナリエと合わせて、神戸を照らす二つの光の祭典を毎年楽しみにしています。



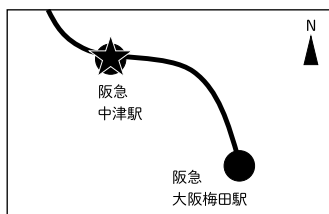
**祭日 齋寺 義則さん**

**メッセージ:**毎年5月3日～5日の3日間、地車祭が開催しております。特に5月4日日本祭りの午前10時より、8基のだんじりが次々と宮入りし、勇壮な祭りになります。



**誰に向けての蛇口? 寺田 智裕さん**

**メッセージ:**この蛇口 なんの蛇口 気になる蛇口  
 なんともふしぎな蛇口ですから  
 なんともふしぎな位置にあるでしょう



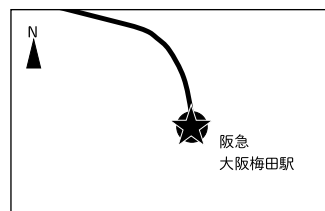




華々に包まれて

栗原 正隆さん

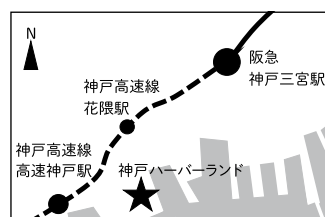
メッセージ:お正月恒例、大阪梅田駅ホームの豪華な飾りつけは一見の価値あります。  
阪急電車が花に包まれる感じで一枚パシャリ。



ハーバー神戸

桑名 弥栄さん

メッセージ:師走の神戸ハーバーランドの黄昏時です。  
海鳥の影絵も楽しく、丁度、大型客船の出航も重なって華やぐ光景になりました。



休日の武庫川

内田 州治さん

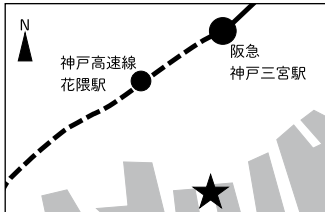
メッセージ:コロナ感染防止の最中、沈みがちな毎日。自宅から自転車で、武庫川東側の堤防沿いの道から甲山方面を望む。  
のどかな休日の風景。気分が解放されました。



## 輝やく観光船

岡田 忠良さん

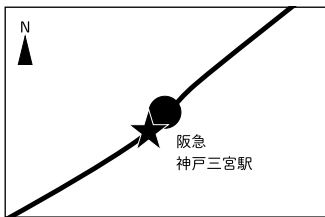
メッセージ:林立するクレーンとその前を進む神戸港めぐりの観光船。ライトアップされた夜の観光船もとても魅力的です。



## 神戸の夜

小谷 朋子さん

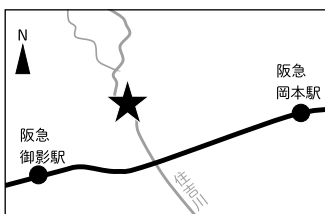
メッセージ:神戸の夜といえば港の夜景を思い浮かべるが、路地裏に一步踏み込めばもうひとつの神戸が…。ワンダーワールドへ白猫が誘う。



## ウォーターカーテン

向井 章二さん

メッセージ:都会の清流 住吉川の上流(阪急神戸線上流)には緑につつまれた堰堤があり、気軽に水遊びが楽しめます。

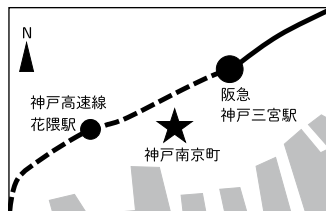




熱烈獅子舞

平松 依里子さん

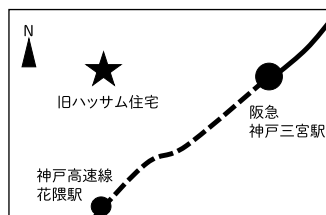
メッセージ:神戸中華街の南京町で開催される中秋節。南京町広場では様々な催し物が行われますが、その中でも1番好きな獅子舞。愛嬌いっぱい躍動感あふれる姿に終始夢中です。



旧ハッサム住宅

尾本 晴奈さん

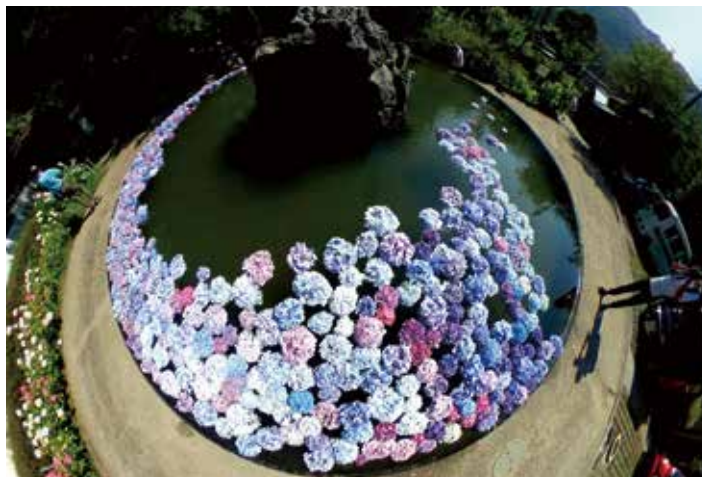
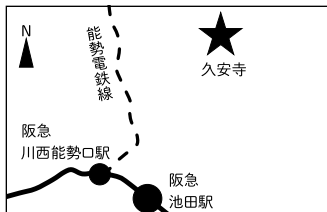
メッセージ:窓から差し込む太陽の光がとても綺麗でした。





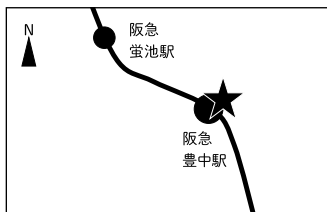
**アジサイ浮かぶ花の寺 前川 敏夫さん**

**メッセージ:**アジサイ浮かべで有名になった久安寺。  
360°カメラで撮ってみました。ドローンで撮ったみたい！



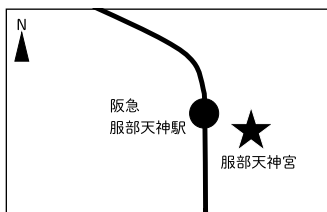
**青春とか。未来とか。 大野 毬恵さん**

**メッセージ:**学生時代の悩みも、夢みた未来も全てここからだった気がします。  
未来を思い描く時、皆さんはどこで想像しますか？



**もうかりませ♡ 清水 潤三さん**

**メッセージ:**服部天神のえべっさん。福娘達が口々に「商売繁盛で笹もってこい」。夜店では子供達の笑声。福笹を売る店にはえびす様にお多福さん。大判小判に大きな鯛。耳を澄ませばお多福さんの「儲かりませ♡」の声がどこからか…。

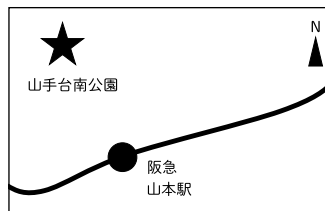




ランウェイ14Night

澁野 逸萌さん

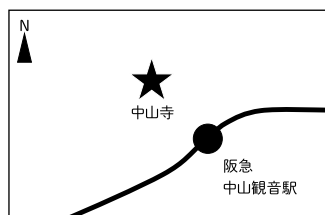
**メッセージ:**通常は南から北に向けて伊丹空港へ着陸する飛行機が、台風の影響を受けて、北から南に向けて着陸しました。多くの飛行機が離着陸する伊丹空港。目に見えない航跡をカメラで表現しました。



初まいり

松井 ひろみさん

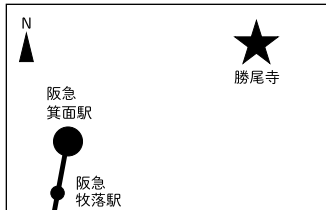
**メッセージ:**初まいり、安産祈願、七五三と家族でにぎわう雰囲気と、お寺の重厚感や揺るぎなさを表現できればと思って描きました。



## 祈願ダルマ

長谷 徹さん

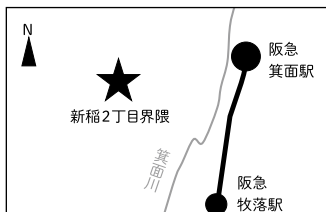
**メッセージ:**勝尾寺の寺内には大小の滝があり、祈願に訪れた方々がダルマを滝水に打たれる場所に置いて、心と体を清めています。



## 夕日に輝く箕面の水田

岡島 信博さん

**メッセージ:**私の最高の散歩コースです。南を見れば大阪市内、梅田のビル群、大阪湾も見える。この絵は西を見ると遠くに六甲山、北は箕面山。6月の田植の時期、夕陽に輝く水田は最高です。いつまでもこの風景が残るか!



## 箕面名物もみじの天ぷら

加藤 誠司さん

**メッセージ:**箕面名物といえばもみじの天ぷらです。甘い味付けをしたころもは一度食べたら病みつきになります。

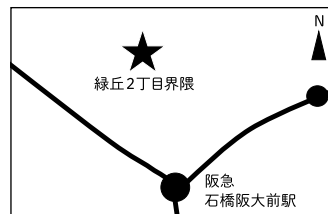






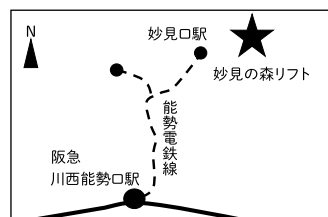
八月十五日のさるすべり 森 三郎さん

メッセージ:毎年八月十五日、このさるすべりの木の下でひとりそっと手を合わせるようになって、何年になるでしょうか。よく生きて、ここ迄来れたと思います。来年も、この見事な、さるすべりの花を見ることが出来ることを願っています。



もう一度会える?かも… 野咲 蓮華さん

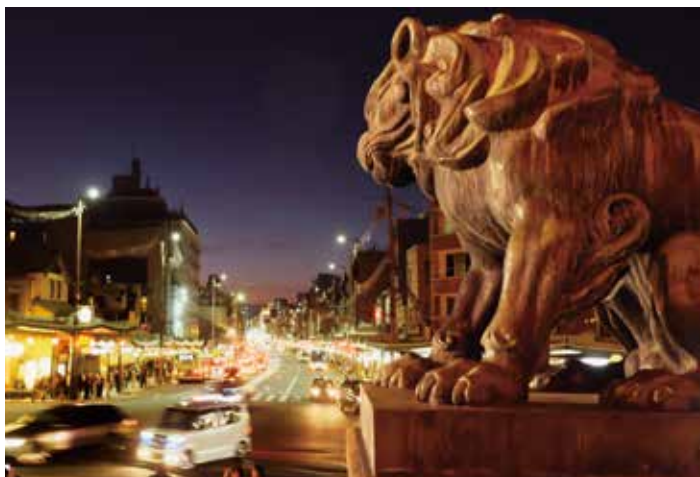
メッセージ:導かれる様にして妙見の森へ。運命の人との再会を祈って来ました。願いが実現します様に。このリフトのユラユラ感は、無重力状態を体験している様で、私の心を天空へといざないました。



## いつも見守っているぞ! 木下 正治さん

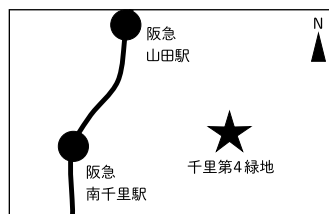
**メッセージ:**八坂神社 西桜門前の石段より、獅子・狛犬をメインに四条通を撮りました。

八坂神社をメインに周辺には由緒ある観光名所が多く存在し、充実した地域です。



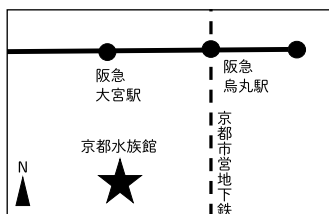
## ともしびの乱舞 前田 昭人さん

**メッセージ:**日が暮れ、あたりが暗くなってくると光の点滅が始まり、ヒメボタルが乱舞しだします。まさに息を呑む光景です。



## ようこそ「京の海」へ 藤田 文子さん

**メッセージ:**大水槽「京の海」では、大きなエイやマイワシの群れが優雅に泳ぐ様子などを見ることができ、思わず見入ってしまいます。街中にあるコンパクトな水族館ですが、たくさんの工夫がしてあり子供から大人まで夢中になれる癒しの空間です。





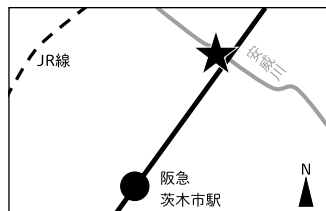


安威川の夕暮れ

水上 毅さん

メッセージ:夕暮れの安威川で撮影しました。コロナ禍で外出自体にも気を使うようになりましたが、広々とした川で遊ぶのも一興。

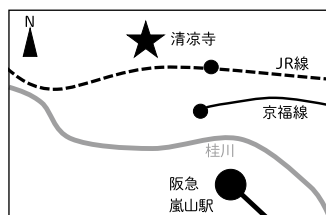
阪急沿線には水と触れ合える川がたくさんあります。



花まつり

小巻 真司さん

メッセージ:4月8日はお釈迦様の誕生日。母上のマーヤ夫人が自分の体に白象が入る夢を見て、目覚めた時にお釈迦様を宿したと言う話から、花まつりには白象を飾るそうです。

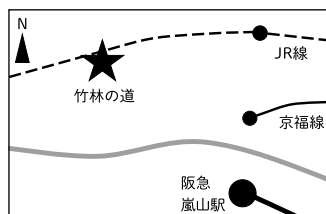


竹林を人力車で行く

前川 敏夫さん

メッセージ:嵐山へ行こう!コロナ禍の中、ここまで人が少ないとは思いませんでした。

車夫さんの元気に勇気をもらったひととき。

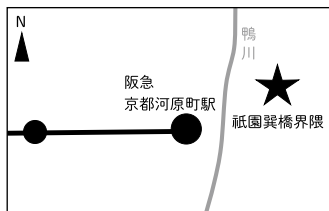




## 雨情の石畳

西野 隆司さん

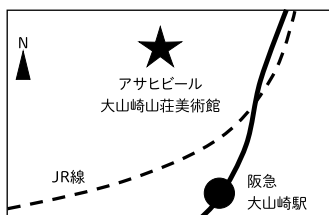
**メッセージ:**有名な巽橋、新調された白木がきれいです。ただ残念なことに欄干に腰掛けるポーズをとりながら写真を撮る人もいます。京都の良さ風情を残したいものです。



## 望郷

花井 和夫さん

**メッセージ:**大山崎山荘美術館には野ウサギの彫刻が展示されていますが、まるで家に帰りたくないと願望している様に見えるアングルがあり、おもしろいと思います。

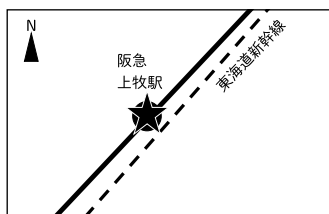


© The Estate of Barry Flanagan / Bridgeman Images

## 頑張る特急

竹川 タダトシさん

**メッセージ:**阪急京都線には東海道新幹線に隣接して並走する区間があります。阪急上牧駅構内で、タイミングが良ければ両線の誇る特急が同時に見られます。ワクワクする一瞬の希少な風景です。

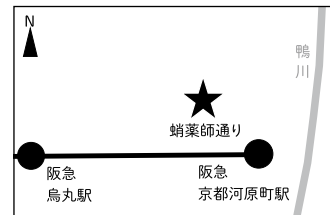




放課後の商店街

山口 潔子さん

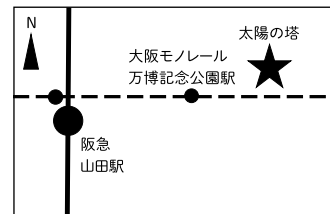
**メッセージ:**鯛焼き屋やたこ焼き屋さんの並ぶ、寺町商店街と新京極商店街の間。修学旅行生や地元の高校生がおやつを食べています。風光明媚な名所とは違うけれど、滋賀育ちの私にとって、「京都」はこの界限です。



太陽の塔とチューリップの協奏

森山 和明さん

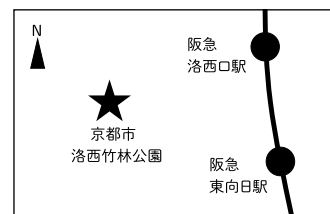
**メッセージ:**四季折々の花が楽しめる万博公園ですが、私のおすすめはここ「チューリップの花園」。色とりどりのチューリップが咲き揃う春、太陽の塔をバックに記念写真を撮ると絵になります。



桜の下でナイスボール

前田 昭人さん

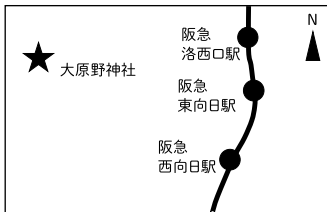
**メッセージ:**桜の木の下で小学生がキャッチボールをしている姿を見ていると、どこからか「ナイスボール」という声が聞こえてくるようでした。桜の木からのエールですかね。





**横顔対決** **こたうるママ(PN)さん**

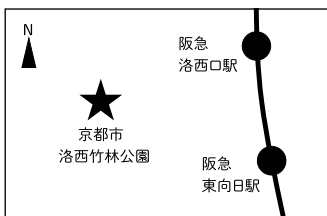
**メッセージ:**京の春日さんで神の使いの鹿さんとお話ししてきました。



**輝夜の夕べ** **小和泉 春男さん**

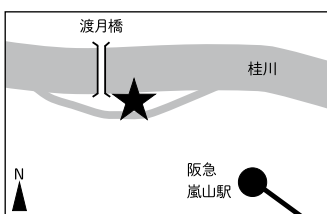
**メッセージ:**毎年、竹の径で行われる向日市のイベント「かぐやの夕べ」。

夕闇深まる竹林が、水口ウソクを浮かべた竹行灯4,000本以上の優しい灯りに照らされて、幻想的な雰囲気包まれます。



**青春の1ページ** **田中 威さん**

**メッセージ:**2020年6月、嵐山に行ってみた。人が少ない、まして学生もいない。2019年までは確かにそこに学生はいた。



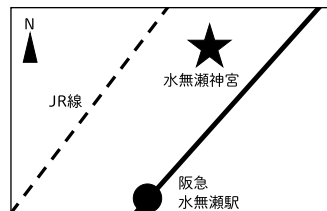




風鈴と夏の空

稲垣 誠さん

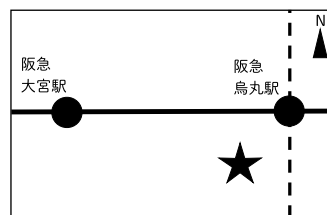
メッセージ:水無瀬神宮の夏の催し「招福の風」。沢山の風鈴が音を奏で、涼しげな気分させてくれます。



宵、宵、宵宮

齋寺 義則さん

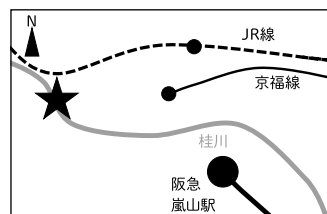
メッセージ:毎年盛大な祇園祭日、宵、宵、宵宮の様子です。本宮に向かって色々なイベントが各所で行われております。



嵐峡の春

小和泉 春男さん

メッセージ:小倉百人一首が編纂された地として有名な小倉山の山麓に嵐山公園亀山地区があり、公園内の展望台は眺望良く、保津川渓谷を見下ろす絶景スポットです。自然と調和した嵐山の美しさを満喫できます。



## 第1回 阪急電鉄開業100周年記念 阪急ええはがきコンテスト 宝塚線・箕面線

阪急電鉄開業100周年を記念して、創業当時の路線である宝塚線・箕面線沿線を対象に開催。

作品募集期間：2010年2月1日～5月7日

対象路線：宝塚線、箕面線

対象エリア：大阪市(北区・淀川区)、豊中市、池田市、箕面市、川西市、宝塚市

審査員：有川浩先生(作家)、有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)、茶谷幸治先生(イベントプロデューサー)

入賞作品：100作品

関係組織・団体：主催/阪急電鉄株式会社

共催/阪急阪神ホールディングス株式会社

後援/大阪府、兵庫県、大阪市、豊中市、池田市、箕面市、川西市、宝塚市、池田市観光協会、箕面市観光協会、川西市観光協会、宝塚市国際観光協会

協力/大阪ええはがき研究会



最優秀賞 写真部門  
五月のレンゲ畑 當山 悦司さん



最優秀賞 絵画部門  
豊南市場 内橋 未央さん



PRポスター



開業100周年記念シンポジウムでの表彰式  
(宝塚ホテル)



入賞作品の展示  
(梅田駅1F中央WEST広場)



## 第2回 映画「阪急電車 片道15分の奇跡」ロードショー記念 阪急ええはがきコンテスト 今津線

映画「阪急電車 片道15分の奇跡」のロードショーを記念して、映画の舞台である今津線沿線を対象に開催。

作品募集期間：2011年3月25日～6月3日

対象路線：今津線

対象エリア：宝塚市、西宮市

審査員：有川浩先生(作家)、有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：54作品

関係組織・団体：主催 / 阪急電鉄株式会社

共催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後援 / 兵庫県、宝塚市、西宮市

大阪ええはがき研究会

協力 / 西宮市宝塚市内郵便局、阪急西宮ガーデンズ



最優秀賞 写真部門  
マイ・ウェイ 本城 利彦さん



最優秀賞 絵画部門  
ビール工場 奥村 誠さん



PRポスター



入賞作品の展示  
(西宮北口駅カリヨン広場)



## 第3回 阪急ええはがきコンテスト 京都

初めて京都方面を対象にしたコンテスト。

作品募集期間：2012年3月27日～5月31日

対象路線：京都線(京都府域)、嵐山線

対象エリア：京都市(中京区・東山区・下京区・右京区・西京区)、向日市、長岡京市、大山崎町

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)、土居好江先生(NPO法人遊悠舎京すずめ)

入賞作品：102作品

関係組織・団体：主催/阪急電鉄株式会社

共催/阪急阪神ホールディングス株式会社

後援/京都府、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町

協力/大阪ええはがき研究会、株式会社阪急コミュニケーションズ



最優秀賞 写真部門  
一本の橋 水上 毅さん



最優秀賞 絵画部門  
京の風情 納涼床 中村 勇人さん



PRポスター



入賞作品の展示  
(梅田駅1F中央WEST広場)

## 第4回 阪急ええはがきコンテスト京都線part2

西山天王山駅が2013年12月に開業したことを記念して開催。

作品募集期間：2013年7月8日～9月30日

対象エリア：西山天王山駅を中心とする京都線沿線地域(向日市域～高槻市域)、西山天王山駅で直結する京都縦貫自動車道沿道地域(亀岡市、京都市(西京区・伏見区)、八幡市、久御山町)

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：75作品

関係組織・団体：主 催 / 阪急電鉄株式会社

共 催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後 援 / 京都府、大阪府、向日市、長岡京市、大山崎町、高槻市、島本町

協 力 / 大阪ええはがき研究会、株式会社阪急コミュニケーションズ



最優秀賞 写真部門  
春風 鳴瀬 博美さん



最優秀賞 絵画部門  
保津川下り 平岡 正己さん



PRポスター



入賞作品の展示  
(梅田駅1F中央WEST広場)



## 第5回 阪急ええはがきコンテスト 阪急京都線part3&千里線

京都線(大阪府域)と千里線でコンテストを開催。

作品募集期間: 2014年3月27日~5月31日

対象路線: 京都線(総持寺~南方)、千里線(北千里~天神橋筋六丁目)

対象エリア: 茨木市、摂津市、吹田市、大阪市(東淀川区、淀川区、北区)

審査員: 有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品: 55作品

関係組織・団体: 主催/阪急電鉄株式会社

共催/阪急阪神ホールディングス株式会社

後援/大阪府、茨木市、摂津市、吹田市、大阪市

協力/大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー



最優秀賞 写真部門  
見守る太陽の塔 常藤 光一さん



最優秀賞 絵画部門  
懐古風景 居村 倫也さん



PRポスター



入賞作品の展示  
(梅田駅1F中央WEST広場)



## 第6回 阪急ええはがきコンテスト 神戸線・伊丹線・甲陽線

神戸線・伊丹線・甲陽線でコンテストを開催。

作品募集期間：2015年4月15日～8月31日

対象路線：神戸線(神崎川～神戸三宮)・伊丹線(塚口～伊丹)・甲陽線(夙川～甲陽園)

対象エリア：大阪市淀川区、豊中市、尼崎市、伊丹市、西宮市、芦屋市、神戸市(東灘区、灘区、中央区)

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：61作品

関係組織・団体：主 催 / 阪急電鉄株式会社

共 催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後 援 / 大阪府、兵庫県、大阪市、尼崎市、伊丹市、西宮市、芦屋市、神戸市

協 力 / 大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー



最優秀賞 写真部門  
夕暮れに異人館から望む 高橋 一吉さん



最優秀賞 絵画部門  
夙川の夜桜 平野 美保さん



PRポスター



入賞作品の展示  
(梅田駅1F中央WEST広場)

## 第7回 阪急ええはがきコンテスト

～あの人に伝えたい、阪急沿線の日常～をテーマにコンテストを開催。

作品募集期間：2016年4月1日～8月31日

対象エリア：全線

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：75作品

関係組織・団体：主 催 / 阪急電鉄株式会社

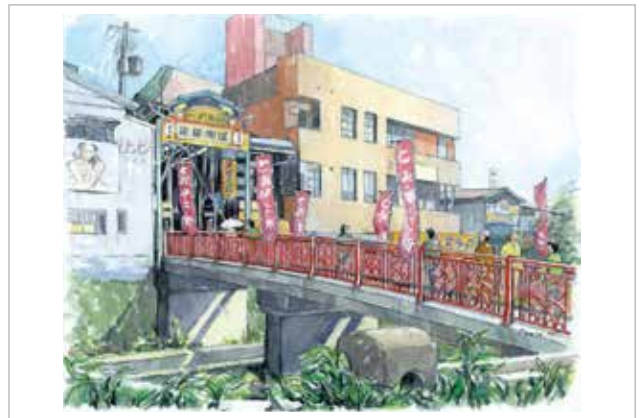
共 催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後 援 / 大阪府、京都府、兵庫県

協 力 / 大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー



最優秀賞 写真部門  
春のうらのの夙川 中西 宏明さん



最優秀賞 絵画部門  
石橋商店街 長坂 富雄さん



PRポスター



入賞作品の展示  
(梅田駅1F中央WEST広場)

## 第8回 阪急ええはがきコンテスト

～阪急沿線の美しく、幸せいっぱいな風景～をテーマにコンテストを開催。

作品募集期間：2017年4月1日～8月31日

対象エリア：全線

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：76作品

関係組織・団体：主 催 / 阪急電鉄株式会社

共 催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後 援 / 大阪府、京都府、兵庫県

協 力 / 大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー



最優秀賞 写真部門  
嗚呼 小森 ゆずさん



最優秀賞 絵画部門  
みんな帰り道 中川 歩美さん



PRポスター



入賞作品の展示  
(梅田駅1F中央WEST広場)



## 第9回 阪急ええはがきコンテスト

～海外の人に教えたい！とっておきの場所～をテーマにコンテストを開催。

作品募集期間：2018年4月1日～8月31日

対象エリア：全線

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：67作品

関係組織・団体：主 催 / 阪急電鉄株式会社

共 催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後 援 / 大阪府、京都府、兵庫県

協 力 / 大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー



最優秀賞 写真部門  
うちの子泣いてるよー 羽嶋 和子さん



最優秀賞 絵画部門  
京都文化博物館 井貫 百合恵さん



PRポスター



入賞作品の展示  
〔梅田駅1F中央WEST広場付近(紀伊國屋書店前)〕

## 第10回 阪急ええはがきコンテスト

全線を対象に、初めてフリーテーマで開催。

作品募集期間：2019年4月1日～8月30日

対象エリア：全線

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：85作品

関係組織・団体：主催 / 阪急電鉄株式会社

共催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後援 / 大阪府、京都府、兵庫県

協力 / 大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー、一般社団法人総合デザイナー協会



最優秀賞 写真部門  
あこがれの京都 水上 毅さん



最優秀賞 絵画部門  
凜とした、岩中 そらさん



PRポスター



入賞作品の展示  
〔大阪梅田駅1F中央WEST広場付近(紀伊國屋書店前)〕

# 審査員の先生方からのメッセージ

コンテストの審査員の先生方からいただいた、コンテストを振り返ってのメッセージをご紹介します。

## 有野永霧先生（写真家）

新型コロナ禍のこの時期のコンテストに危惧の声もありましたが、多くの皆さんの賛同のもとに無事実施できましたことに感謝いたします。このコンテストがいかに多くのファンに支えられているかを再確認いたしました。条件の悪い時期にもかかわらず、多くの作品が送られてきました。作品の質も高く、予選通過の作品も常より多く残り、選考に苦慮しました。

また、新しく設定した「キッズ・ジュニア賞」「ティーンズ賞」の若い人の作品も、多種多様な作品が集まりました。若い人の作品は感性が豊かで魅力にあふれ、より楽しい選考となりました。

沿線により多少の応募数に差がありました。いつものように宝塚線がすこし少なかったが、作品の出来具合には大きな違いは感じられませんでした。

コロナに負けずに、健康に配慮していただき、素敵な「ええはがき」を制作してください。

### ■有野永霧(ありの えいむ)先生プロフィール

尼崎市生まれ。大阪学芸大学(現大阪教育大学)卒業。写真家。元大阪芸術大学教授。1981年タイムライフ写真年鑑新人賞、1985年尼崎市民芸術奨励賞、1994年第19回伊奈信男賞、2002年尼崎市民芸術賞、2017年尼崎市文化功労賞受賞。国内外で多数の個展と写真展を開催し、写真集に「虚実空間・都市」、「都市からのメッセージ」、「都市との対話」、「虚実空間・空蟬の都市」、「虚実空間・空蟬の風景」、「有野永霧との対話」、「日本人景 温泉川」などがある。

## 井上正三先生（画家）

応募作品にはデジタル絵画も登場し、年を追うごとに、より多様な画法を拝見できるようになりました。絵の表現に新しい息吹を感じます。

応募いただいた方々は、お子さんから高齢の方までかなりの年齢の幅がありました。いずれの年齢層の方にも、その地の思い出や郷土愛、その地で日常を過ごす喜びなどがベースにあるように思われます。コメントと共に絵を拝見し、作者とその地との繋がりやその風景の持つ特別な意味が伝わり、胸打たれることもありました。作品の一つ一つに心が和むのを覚えながら拝見いたしました。

### ■井上正三(いのうえ しょうぞう)先生プロフィール

1944年生まれ、芦屋市在住。現在、画塾SHOWZ主宰。JR西日本ジパング倶楽部、谷崎潤一郎記念館文学館講座、よみうり文化センターなど、大阪、阪神間で絵画教室講師を務める。著書に水彩画集「風のたよりに彩りそえて」(日貿出版社)、井上正三画集「具象と抽象の狭間で」(幻冬舎)がある。

## 杉本容子先生（大阪ええはがき研究会）

今年は応募枚数の制限を設けたこともあり、一枚入魂のクオリティの高い作品が揃いました。コロナ禍のなかでの製作期間だったためか、身近な魅力に目を向けた作品が例年以上に多数を占めた気がします。毎年応募くださる常連さんもさることながら、約半数の方が初めての応募だった今回。肩の力の抜けた、型にはまらない、初々しい作品に、「そうきたか!」の楽しい審査になりました。

コンテストが始まったころに比べて、SNSで気軽に、誰でも個人の発信ができるようになったいま、ハガキというアナログの形で表現する価値が、少しずつ若い人にも浸透してきて、楽しんで頂けているように感じました。来年も、もっともっと新しいアプローチのええはがきに出会えることを楽しみにしています。

### ■杉本容子(すぎもと ようこ)先生プロフィール

大阪ええはがき研究会メンバー。(株)ワイキューブラボ代表取締役。(一社)水辺ラボ代表理事。大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士前期課程修了。工学博士。杜の都仙台生まれ、白砂青松湘南育ち、水都大阪に生きるまちづくり好き。水辺の魅力づくりや歴史的環境のまちづくりを得意とし、研究者・行政職員・民間コンサルタント・お母さん・NPO活動・町会活動・場の運営事業など、まちに関わる様々な立場を実践し、まちづくりの新しいアプローチにトライし続けている。




## 第11回 阪急ええはがきコンテスト 入賞作品集

発行 2020年12月

編集・発行 阪急電鉄株式会社 交通プロジェクト推進部  
大阪府大阪市北区芝田1-16-1

 [hc-eehagaki@hankyu-group.jp](mailto:hc-eehagaki@hankyu-group.jp)

 <https://www.hankyu.co.jp/eehagaki/>

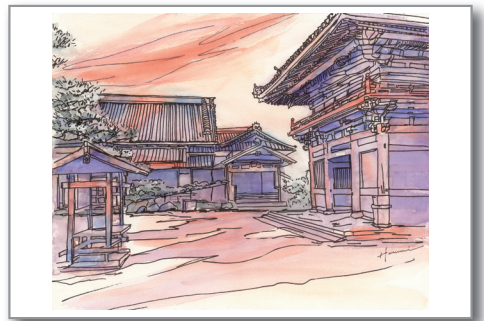
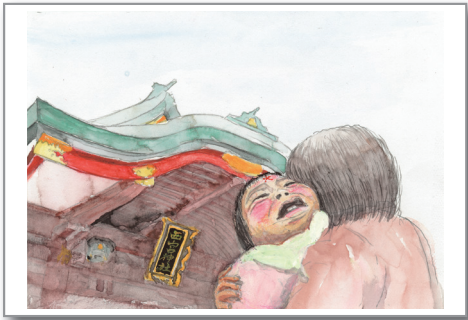
 [@hankyu\\_eehagaki](https://www.instagram.com/hankyu_eehagaki)



ホームページ



インスタグラム



私たちは、未来へつなく  
「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。